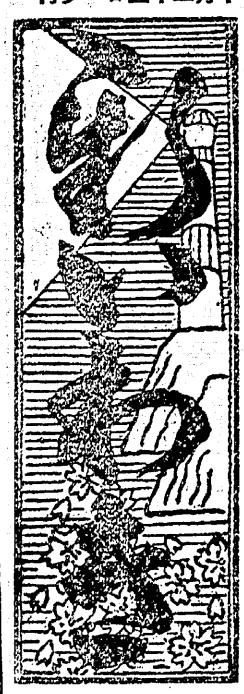
十月二十五日　夕刊



聖壽奉唱銃後を念ず

郷軍幹部臨終の遺書

悲痛な境遇に私事を語らず

故大畑少尉の病床の筆

平市郷軍第一分會長故陸軍少尉大畑實氏は去る十三年同分會長就任以來會員の統率指導に盡力會の成績に見るべきものを數えられ軍保馬鍛錬或は防空指導員等時局下の郷軍幹部として銃後施設に奮闘を續けられてゐた本月九日夜遽かに倒れ藥石の効なく十四日午後九時三十分遂に逝去した、死に臨める苦情の病床で最後の筆を執り、

在平色々ト御世話ニナリマシタ御高恩ニムクユルコトガ出來ナイノガ殘念デス、第一線兵士ノ心ヲ以テ銃後ヲ守ル心トナシ、皇軍ノ基幹トシテ思フ存分銃後運動ニツクシ得タルハ小生ノ滿足スル所デアリマス（以下判讀シ得ズ）境地デ死ストギコトナシ（以下不明）三十四歳言フベデス、デハサヨウナラ、天皇陛下バンザイ（原文ノ儘）

の遺書を聯合分會長藤田榮功氏宛唯一通をのこされたが故人の妻は其の生前一子を上げたる產後の日たち惡く病床にあるなど悲痛な境遇にある中に一言の私事を語らず時局を忘れず銃後を念じ、聖壽を奉戴しつゝ逝ける大信念こそ寔に郷軍の龜鑑と云ふので近く軍人會報にもこの心構えを賞讃されることになつた

縣下四市九町の

水道部の協議會

二十六、七両日平市に於て

技術研究と事務打合せ

縣下水道協議會、平市ほか福島、若松、郡山、小名濱、湯本、四倉、江名、中村、本宮、二本松、須賀川、坂下の四市九町事務、技術員の會同は明二十六日午前九時から平市商業校講堂で二十七日は市公會堂に於て催される、協議は主として技術上の相互研究、事務取扱ひに關するもので出席約三十名と見られ二十七日は午前中に議了後一行の片濱視察があり小名濱、江名の水道及び日本水素工場、豊間の鹽屋崎燈台、沼の内辨天等を視て解散することになつてゐる

後藤土木部長の

小名濱商港視察

後藤本縣土木部長は今二十五日正午磐越東線平驛着で來平小名濱商港の災害現地を視察その他をなしたる後湯本町山形屋旅館に泊す

土木建築の

產報會結成

植田署管内の

植田署管内土木建築產業報國會は昨二十四日午後一時半から同署樓上に於て結成式を擧行、署長の挨拶、須藤平土木監督所長の祝辭ありて午後四時閉會したが會員百二十二名會長は副會長兼務で成瀬巴三氏、顧問に植田署長と平土木監督所長及び中山吉之助氏を推し幹事は蛭田勝雄氏ほか六名である

二千六百年記念に

誇る石城の慶祝會

來る五日平市公會堂に於て

三貴員、二代議士を招ぎ

貴族院議員に舊平藩士安藤子爵、舊泉藩主本多子爵及び平市諸橋久太郎氏の三氏と衆議院議員に星一氏、比佐昌平氏の五名を出だした石城郡並に平市がこれを誇りとしての催をなすべく

安藤子爵側菅沼鋒太郎、佐々木龍若　本多子爵側小林藏次、本多忠明　比佐代議士側萩原義雄、比佐賢司　諸橋氏側山崎與三郎、木村清治　星代議士側大嶺庫、木村守江諸氏の

右關係に對する交渉によつて紀元二千六百年を記念する慶祝招待會を擧行すべく心組まれてゐることは既報の如く同會は日進會の主催を以て來十一月五日午後二時から平市公會堂に於て行ふことになつたが五氏の招待會には勿論會ての政黨政派の如き感をもたず賛助員に郡市の大先輩をはじめ現縣會議員その他に擴く意を求めて所記の如く誇りの會を催す會の順序は宮城遥拜默禱終つて大嶺日進會長同會開催の趣旨を述べ賛助員から慶祝の言葉、有志の祝辭に對し前記五氏の謝辭萬歳三唱の後記念撮影をなして解散することになつてゐる尚ほ夜は午後六時から一般の觀覽に映畫會を催し外國（主にドイツ）寫眞

第一線に息吹くもの

最前線視察手記〔4〕

京漢　瀧海　津浦

北京華北交通會社自動車部技術課　花澤輝一

この取つく術のない自然と人の曠漠の中に、指導者として生きて行かねばならぬ我々の前途の容易ならぬのを思つたのである、

開封で聞いた兒玉警務科長の話は、この間の消息を雄辯に物語る、

何しろ瀧海線一帶は接敵地方である上に抗日教育の徹底してゐるところですから感路工作も生優しいことぢや行れません、敵の宣傳及び武力による脅迫は猛烈で、現にこちらの愛路村長でありながら敵の何か復員をやつてゐるやうな者もかなりあるだらうと思ひます、

勿論、根本方針は温情主義ですが、確證が挙れば斷乎たる處置を取ります、それも、我々がやつてはいかんので、警備の方に頼むわけです、つまり愛と劍の使ひ合けです、かういふ際、一番いけないのが正當な理由もなく彼らを嚴つたりすることで、それも防ぐため各驛區長さん等と愛路工作に從つて貰つてゐるわけです、

中には熱心な人もあり、ある驛長などは私財を投じてゐます、初めはこちらで御馳走しても疑つて食はないのが、二度、三度とやつてゐるうち逆に向ふから招待して來たと云ふ例もあります、

しかし、かういふ仕事はこちらの努力がどの程度に彼等に響いてゐるのか、なか〳〵判らない、だが、これも情報の提供類等の統計にふつてだん〳〵判つて來ることゝ思つてゐます、

まア…今のところは、こちらと敵の宣傳と武力の根くらべで、結局眞の日本人とは斯う云ふものだと云ふことを在ら、そして將來に輝く大東亞建設を胸にをさめて意氣高く進軍を續けませう、遠近に響き渡る銃砲聲の森く○○陣地の一角に銃を取つて敵陣を睨みつゝ今日の感慨しき皆様の御姿を想へ浮べながら遠き南支の空より遥かに郷土に於ける戰時下銃後の御働きを感謝し尚ほこの上共に皆々様の御健康と力強き進軍の足並を御祈申上げます、慰問袋や御手紙を下さいました皆様に一々御禮狀差上ますのが本意でありますが陣地多忙を御察し下され管波イネ子様、川又一技様、渡邊秀子様、志賀アイ子様、金成スミ子様御一同によろしく御傳へ下さるやう御願いたします、本當に有難うございました重ねて御禮申上ます、敬具

戰地の便

どんな困難でも心の持ち樣一ツ

〔下〕

石城郡泉村出身　吉田榮一郎

皆様にも暑いときの學業時に先生のお話が耳に入らぬねむ氣に襲はれたり、或は日常の間に厭なこと、苦しい事等幾多直面するでせうが實にこの心の持ち樣、精神一つでどうにもなるのです、此の時の覺悟が大切だと思ひます、何事にも心を打ち込み誠意以て其のつとめに突進することこそ立派な修養で最後の榮冠を獲得出來る事と思へます、戰線に起つ我等、銃後をお護り下さる皆様お互に心身を鍛へ萬難を克服して如何なる難關をも突破して行けるのも心の持ちやう次第でありますから聖戰の目的遂行のため大いに奮闘いたしませう

慶祝招待に

晩餐會

有志二十余名で

平市と石城郡が三貴族院議員二代議士をもつ誇りの招待會は別項所報の如くであるが五日の同會當日發起人外二十餘名ほどの有志による晩餐會を催すもの〻如くである

十八ケ警防團の

秋季聯合檢閲

平署では來月中旬に施行

昨報平署管内警防團十八團長の協議會は今二十五日午前十時から同署會議室に於て開く會議事項は左記の如く秋季聯合檢閲は來十一月中旬はじめ頃に擧行の意向となつた、尚ほ當日優良團員その他の表彰等をも行ふ筈である

▲指示警防團員の時局に處する心構、規律振肅、火災豫防、警防團表彰に關する審査施行に付團体員指導教養、警防團自動車運轉者講習會▲注意機械器具手入保存、道路及水利の充實、教會費納入、▲協議秋季檢閲警防團表彰審査を受くる警防團、地下足袋配給、活動寫眞開催防空思想普及に關する諸件

戰時ニュース映畫等に無料で公開することになつてゐるなど慶祝會から引續いて近頃稀なる盛會を見るであらう

軍供乾草協議

石城郡農會では來る二十八日午前九時から各町村技術員及び係吏員を會同し軍供出の乾草につき協議する

小遣を節約献金

寿四の大井川君

平市材木町第一校寿四生大井川準之助（二）君は小遣を節して貯めた金二圓を市の銃後奉公會へ寄附一円九十二錢を國防費に献金した

文部省語

給養はどうかと云ふことをたづねる場合は欠餉不欠餉でチエンシアンブーチエンと唱ひ、彈藥は充分あるかと云ふことをば子彈充足麼でツータンチエンツウマと云ふ語になつてゐる

御洋服は明治洋服店
高島屋洋服店
平二電三六六

新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆
二、〇〇以上
ペン先ハ獨特ノ新合金製耐酸、耐蝕、耐磨金ペンニ劣ラヌ感觸而モ堅牢、優美、安價ノ三拍子揃ヒニテ眞ニ新興國策製品、
店理代　文魁文堂
電話三一三

産業戦線

專賣制の一歩手前（三）

米穀管理法の解說

▲實施後の戒心に就て、わが國が政治經濟機構の全部を擧げて全体主義的体制に進んでゐる時、農業部門も勿論その例外ではあり得ない、米穀需給の逼迫がなくても、他の部門との釣合上統制の要は當然豫想さるべく、最近の國内國際兩事情を通觀する者にとつてこの事はすでに一片の常識化しつゝある事柄であらう唯こゝにわれ〳〵が最も戒心を要すべき點は、統制經濟が徹底的に行はれてゐるナチスドイツにおいてさへ、農業統制には頗る手を燒き統制の強化に正比例して主要農産物の減産を招來した事實である、公益優先の精神が徹底されず從つて利潤追究の經濟觀念を商法の鐵則としてゐる者にとつては、國家の統制は、ある程度まで苦痛であり、迷惑である、利益なき增産はなるべく回避し、利益多き生産につく事は自然の理であつて、自由主義社會の經濟理念からすれば何等云々さるべき問題ではないのである、併し、今や米穀事情は農相の言葉を借りれば「容易に樂觀を許さゞるものがあり、長期戰態勢下における國民食糧確保の重要性を考へ常時一一日も疎かたるを許し得ない事態に遭遇しては自由主義的觀念に陶醉してゐる場合ではないのである、農林省としても今後不急不用の農生産物の生産に必要な肥料、資材の配給制限を強化しこれにより得られる余剰は凡てこれを米麥等の主要食糧增産部門に振りむけることになつてゐる、

十月廿四日より上映

松竹大船超特作 監督 佐々木康

再會

三宅邦子、坪内美子、森川まさみ共演

運命の惡戯から離れ〳〵に成つた戀人同志が互に描く再會の日！それは遂に幸福の日ではなかつた

松竹京都超特作 國寶新聞所戦

破魔弓傳奇

完結篇

阪東好太郎、海江田譲二、北見禮子、其他オールスターキャスト

十五萬兩埋藏を秘めた一葉の繪圖…勤王黨か佐幕の手にか？ 死闘は展開されて行く

日活奇想音樂時代劇

仇討交響樂

おなじみの嵐寛壽郎、瀬川路三郎、市川春代、其他時代劇部總動員

日本ニュース十九輯

毎日正午より開館 觀覽料 大五〇 小一五

松竹日活獨占封切場

松竹直營 平館

内科、小兒科

大森醫院

入院應需

醫學士 大森勇

平市南町 電二五八番

皮膚、泌尿器、性病科

江尻醫院

江尻伊三郎

平市田町 電話六九一番

内科、小兒科 外科、花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

高久病院

平市田町 電話五一三番

院長 醫學士 高久忠

大小の御宴會にホール

御家族の御同伴に御座敷

いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目（電話一二三番）

國民精神總動員

日本國民必見の書……

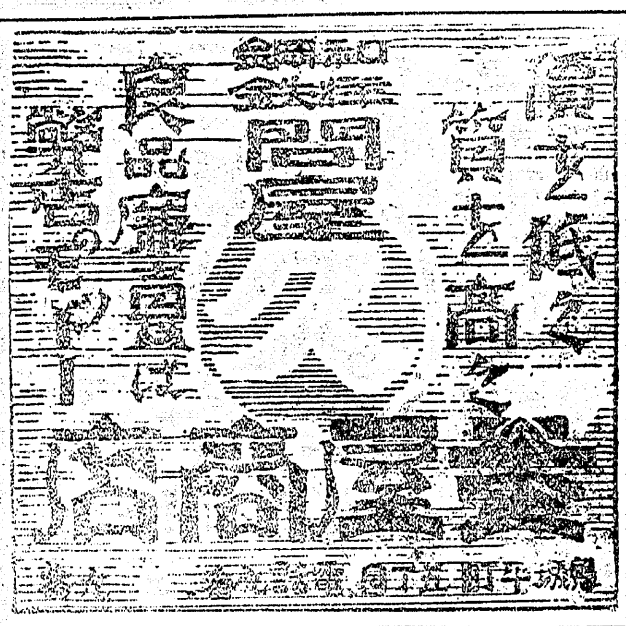
内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次致して居ります

平二 西村屋藥局 電三



債券、公債 両替、金融

多田井質店

平市大工町 電話五九一番

平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）

院主 院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 小兒科 院長 鈴木定藏

内科 外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸

レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に從事す（急患は此の限りにあらず）

附屬産院 新設

妊産婦入院隨意

産婦人科 木村病院

平市新川町 電話一六四番

平田町（三丁目裏川岸通）

明雲堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需（自炊の便あり）

肉の御用命は

三三屋

牛も豚も優良品の自慢

「貯蓄は無盡で」

大神 三千圓

一歩一歩登の山

社会の恵しくぶらぬうち

無盡がかしこう今のうち

磐城無盡

根本産婦人科醫院

平市南町

根本莊次郎 根本貞雄

（入院隨時）

電話三四番